

**当社製エアゾール式簡易消火具の製品事故のご報告と  
自主回収に関してご協力のお願い**

ヤマトプロテック株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：乾 雅俊)は、特定期間に製造された当社製エアゾール式簡易消火具の不具合により、変形や液漏れ、亀裂、破裂の製品事故が発生しており自主回収を実施してまいりました。

このような製品事故は本年7月15日現在、838件(うち怪我を伴う人身事故は6件)を数え、皆様にご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。幸いなことにこれまで生命にかかわる重大事故は発生していませんが、時間の経過に伴い、事故が増加する懸念があります。また、過去の事故発生傾向では、特に気温が上昇する夏場に事故が多発しています。

つきましては、いまだ回収に至っていない不具合品の破裂による不慮の事故を未然に抑えるためにメディアの皆様のご協力を賜りたく、自主回収について現状の発表をさせていただきます。

**1. 自主回収の対象商品とその数****エアゾール式簡易消火具(ヤマトボーイKT・FMボーイk)**

日本消防検定協会鑑定番号 鑑消第13～4号

製 造 年：2001年(平成13年)11月から

2002年(平成14年)7月までに製造したもの

品質保証期間：3年3ヶ月

(2005年(平成17年)1月～10月の期間で保証期間は切れています。)

製 造 本 数：約184,000本

|                                                                                     |                         |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|---------|
|  | ■自主回収対象商品<br>【ヤマトボーイKT】 |         |
|                                                                                     | 製造ロット番号                 | 品質保証期間  |
|                                                                                     | KO331                   | 2005.01 |
|                                                                                     | KN326                   | 2005.02 |
|                                                                                     | KD317                   | 2005.03 |
|                                                                                     | K1426                   | 2005.04 |
|                                                                                     | K2407                   | 2005.05 |
|                                                                                     | K2420                   | 2005.05 |
|                                                                                     | K3407                   | 2005.06 |
|                                                                                     | K3419                   | 2005.06 |
|  | ■自主回収対象商品<br>【FMボーイk】   |         |
|                                                                                     | 製造ロット番号                 | 品質保証期間  |
|                                                                                     | KN301                   | 2005.02 |
|                                                                                     | KN322                   | 2005.02 |
|                                                                                     | KD319                   | 2005.03 |
|                                                                                     | K1425                   | 2005.04 |
|                                                                                     | K2408                   | 2005.05 |
|                                                                                     | K2421                   | 2005.05 |
|                                                                                     | K3406                   | 2005.06 |
|                                                                                     | K3418                   | 2005.06 |
|                                                                                     | K4423                   | 2005.07 |
|                                                                                     | K7425                   | 2005.10 |

製造ロット番号と品質保証期間は、  
缶底に表示しています。

例えば、2005年10月に品質  
保証期間が過ぎる場合、以  
下のように記載されています。

2005.10



## 2. 経緯

- ・ エアゾール式簡易消火具（ヤマトボーイＫＴ，ＦＭボーイｋ）は２００５年６月より、変形や液漏れ、亀裂、破裂などの製品事故が数件発生し、それ以降増加しています。
- ・ 人身事故（６件）の詳細：破裂に驚いた女性が転倒して冷蔵庫に頭をぶつけた（２００７年１月愛媛） 破片が顔にあたった（２００７年１１月千葉） 飛び散った消火薬剤が目に入り洗浄（２００７年１２月埼玉） 破裂したときの音で耳鳴り（２００７年１２月名古屋で２件） 破裂に驚いた男性がキッチンの角に腹部をぶつけ肋骨骨折（２００７年１０月千葉）
- ・ 品質保証期間２００５年１月から１０月までの該当製品（対象１８４，０００本）については、２００５年７月より新聞社告・折込チラシ・戸別配布チラシ・自社ホームページを通じて自主回収に努め、４４，０６３本（７／１５現在）を回収しました。
- ・ 改良を加えた２００２年８月以降に生産した製品（品質保証期間２００５年１１月以降）では、６０ヶ月の加速実缶試験を実施し安全性に問題がないことを確認しています。

## 3. 原因の推定

- ・ 該当品（鑑定品）の鑑定検査機関である日本消防検定協会や工業試験所などと協力の上、原因究明の調査を実施。
- ・ 製品事故の主原因は充填薬剤に対する内面塗膜の耐薬剤性がよくなかったことです。
- ・ 具体的には充填薬剤に対する内面塗膜の耐薬剤性が良くなかったところに設置環境（高温になる場所など）などの条件が重なり、充填薬剤による容器への腐食が始まり、この腐食反応で発生した水素ガスにより徐々に容器内圧が高くなり製品事故に至ったものと推測しています。
- ・ 尚、充填薬剤により塗膜が侵されてから、製品事故が発生するまでの腐食反応メカニズムについては現在調査研究中。

## 4. 当社の対応の経緯（参考資料を参照願います）

### （１） お客様への対応

製品事故のご連絡を頂きましたお客様には、当社の社員が訪問し、謝罪を行っています。また、補償問題について誠意をもって対応しています。

### （２） 新聞社告

２００５年７月１日から２００８年４月２１日までに計８回掲載。

### （３） 当社ホームページにて自主回収の告知と注意喚起を実施

<http://www.yamatoprotec.co.jp>

### （４） 関係当局への報告

- ・ 総務省消防庁に対し、２００５年６月３日から現在までの間に随時報告を行っています。

総務省消防庁より、「エアゾール式簡易消火具の不具合（破裂事故）に係る注意喚起の連絡」等が各都道府県へ通知、連絡されています。

- ・ 経済産業省消費経済部製品安全課に対し、２００６年９月２９日から現在までの間に随時報告を行っています。

尚、都道府県別の事故発生状況につきましては別添資料をご参照下さい。

- (5) 全国消費者センターなどへご協力のお願い  
2006年9月15日に(社)全国消費者生活相談員協会の会員(約2,000)に、また、2006年9月27日と2006年11月27日の2回、全国各地の消費者センター(530ヶ所)にチラシを郵送。
- (6) 販売店向けのFAXニュース  
2005年7月(No.105)より2008年6月(No.146)まで「自主回収のお願い」の掲載。
- (7) 新聞折込チラシでの自主回収の告知  
2006年10月11日から2008年7月2日までに計9回(7県761万部)折込チラシを配布。
- (8) 戸別配布チラシでの自主回収の告知  
2007年10月9日埼玉県(入間、川越、春日部)、神奈川県(相模原)、千葉県(野田)で20万部、2008年3月3日愛媛県内で30万部、2008年4月15日神奈川県横浜市北部で56万部のチラシを戸別配布。
- (9) 報道関係へのご協力のお願い  
2007年9月13日「総務省記者クラブ」「経済産業省記者会」、横浜商工会議所、埼玉県庁、千葉県庁、愛知県庁、大阪府庁、福岡商工会議所の記者クラブに「自主回収についてご協力のお願い」リリースを配布
- (10) 全国危険物安全協会(全国2万会員様)へのチラシ配布
- (11) ヤマトボーイK.TならびにF.Mボーイkについては、2007年8月末をもって生産を中止しました。

## 5. 回収状況

7月15日現在で、44,063本を回収。

(既に、お客様が廃棄されている分は、数の把握が困難で含まれていません)

## 6. 今後の自主回収の内容

### (1) お客様への告知方法

新聞の折込チラシやチラシの戸別配布(山形県、埼玉県、神奈川県、静岡県、愛知県で予定)

TVCM

ホームセンターなどの量販店へポスター店頭表示

大口販売先へ個別の追跡

防災用品の販売店向けのFAXニュース

当社ホームページ

(2) 交換方法

ヤマトボーイ K T ならびに F M ボーイ k の缶底を確認いただき、対象品に該当にする場合は当社の「お客様相談窓口」へご連絡いただきます。ご要望に応じ無償で引取り、謝礼(クオ・カード1,000円分)を送付します。

お客様相談窓口

フリーダイヤル：0120-801084

受付時間：月～金（祝日除く）午前9：00～午後5：00

弊社ホームページでも詳細を掲載しています。

<http://www.yamatoprotec.co.jp/topics/rc/top.html>

これからも、引き続き品質保証期間の過ぎたエアゾール式簡易消火具の自主回収のお願いを各メディアを通して、また弊社のホームページ及びチラシにて周知を図ってまいります。

今後とも「お客様に満足の得られる商品の提供」に全力を尽くし、さらなる品質管理、工程の管理の強化に努めてまいります。

【本件に関するお客様の相談窓口】

ヤマトプロテック株式会社 お客様相談窓口

**フリーダイヤル：0120-801084** 受付時間：月～金（祝日除く）午前9：00～午後5：00

【本件に関する報道機関の皆様からのお問合せ先】

ヤマトプロテック株式会社 統括部 朝田登／佐藤淳也

TEL：03-3446-7153 FAX：03-3446-7243

なお、本資料は「総務省記者クラブ」「経済産業省記者会」、山形県庁、横浜商工会議所、埼玉県庁、千葉県庁、静岡県庁、愛知県庁、大阪府庁、広島県庁、愛媛県庁、福岡商工会議所の記者クラブに配布させて頂いています。